

妖怪絵本

もののけ・お化けの世界

平成20年7月24日(木)～9月28日(日)

(A: 7/24～8/29 B: 8/30～9/28)

No.	名称	時代	世紀(年号)	期間 / 所蔵者
ヒトと物の怪のあいだ				
1	源氏物語絵巻(木版模本) 横笛 川面義雄製作	昭和	20	
2	目無経 模本 桜井清香摸写	昭和	20	
3	能面 橋姫	江戸	17-18	A
4	能面 生成	江戸	18-19	B
5	日高川草紙絵巻	江戸	18-19	
お化け・百態				
6	百鬼夜行絵巻	江戸	18-19	
7	化物草紙	江戸	18-19	
8	化物草紙	江戸	19	個人蔵
9	妖怪双六 雪庵筆	江戸	弘化2年<1845>	
10	百物語双六 歌川芳虎画	江戸	天保14-弘化4年<1843-47>	
妖怪退治伝				
11	武大夫物語絵巻	三巻の内	江戸 17	
12	酒吞童子絵巻	三巻の内	江戸 17	
13	源頼光鬼退治 歌川国芳画	三枚続	江戸 文化12-天保13年<1815-42>	A
14	坂田金太郎 歌川国芳画		江戸 文化12-天保13年<1815-42>	B
15	和田平太胤長 歌川国芳画		江戸 天保14-弘化4年<1843-47>	B
16	源頼政怪鳥鵲を射る図 歌川国芳画	三枚続	江戸 天保14-弘化4年<1843-47>	A
17	阿倍秦成調伏妖怪図 歌川国貞(三代豊国)画	三枚続	江戸 天保14-弘化4年<1843-47>	B
江戸の怪談話				
18	剪燈新話句解(駿河御讓本) 明・瞿佑撰 朝鮮・垂胡子集釈	二冊	朝鮮王朝 16	*
19	伽婢子 浅井了意作	七冊の内	江戸 文政9年<1826>	*
20	怪談摸摸夢字彙 山東京伝作		江戸 享和8年<1803>	*
21	近世怪談霜夜星 柳亭種彦作 葛飾北斎画	五冊の内	江戸 文化5年<1808>	*
22	東海道五十三対 岡部 歌川国芳画		江戸 天保14-弘化4年<1843-47>	A
23	東海道五十三対 草津 歌川国芳画		江戸 天保14-弘化4年<1843-47>	A
24	東海道五十三対 日坂 歌川国芳画		江戸 天保14-弘化4年<1843-47>	B
25	東海道五十三対 桑名 歌川国芳画		江戸 天保14-弘化4年<1843-47>	B
26	怪談波良鼓 五柳亭徳升作 歌川国芳画		江戸 天保元年<1830>	*
27	怪談鳴見絞 鶴屋南北作 歌川国貞画	二冊	江戸 文政14年<1831>	*
28	絵本いろは仮名四谷怪談 鶴屋南北作 春梅斎北英画	五冊の内	江戸 天保5年<1834>	*
29	いろは仮名四谷怪談 後編 鶴屋南北作 春梅斎北英画	五冊の内	江戸 天保6年<1835>	*
30	四谷怪談後日譚 尾上梅幸作 溪斎英泉画		江戸 文政10年<1827>	*

源氏千年紀 『源氏物語の世界』

平成20年7月24日(木)～9月28日(日)

(A: 7/24～8/29 B: 8/30～9/28)

紫式部によって著された『源氏物語』は、今からおよそ千年前の平安時代に成立しました。『紫式部日記』の寛弘5年(1008)11月1日の記事に、藤原公任が「此のわたりに、若紫やさぶらふ」と呼びかけた話があり、この記事に基づき、今年が“源氏千年紀”として全国的に盛り上がりつつあります。

『源氏物語』は、その成立以降現在にいたるまで、わが国を代表する古典として読み継がれ語り継がれ、写本や梗概書、注釈書・研究書なども多く記されてきました。

各時代にわたり絵画化が試みられ、調度品や衣服などにも『源氏物語』にちなむ意匠が凝らされました。

この名古屋の地には、国宝「源氏物語絵巻」や重要文化財「河内本源氏物語」をはじめ、国宝「初音の調度」をはじめとして、全国的に見ても『源氏物語』にゆかりのある古書籍や絵画、工芸品などの作品が数多く伝えられています。

“源氏千年紀”にあたる本年、蓬左文庫展示室1のなかで、『源氏物語』にちなむさまざまな作品を取り上げ、その享受の一端をご紹介します。

No.	名称	時代	世紀(年号)	期間	所蔵者
1	河内本 源氏物語(複製)	現代	20	A	*
2	源氏物語(河内本) 駿河御讓本	重要文化財	鎌倉 正嘉2年<1258>	B	*
		二十三帖の内			
3	源氏物語 竹河(河内本系) 伝藤原為家筆	鎌倉	13		*
4	源氏物語(青表紙本系) 持明院基輔筆	五十四帖の内	江戸 延宝5年<1677>		
5	源氏物語(青表紙本系) 附 桐木目蒔絵書物篋 里村紹巴奥書	三巻の内	五十五冊の内 桃山 天正8年<1580>		*
6	源氏物語絵巻(模本) 田中親美模写	六曲の内	江和 昭和10年<1935>	B	
7	源氏物語図屏風	六曲一隻	江戸 17	A	建中寺蔵
8	源氏物語図屏風	六曲一双	江戸 17	A	建中寺蔵
9	源氏物語図屏風 伊藤千会子氏寄贈	六曲一双	江戸 17	B	
10	合貝		江戸 19	A	
11	扇面散蒔絵貝桶	一对	江戸 19	A	
12	盆石 銘 夢の浮橋 伝後醍醐天皇所持	名物	南北朝 14		
13	古瀬戸野田手茶入 銘 蓬生		室町 15-16		
14	瀬戸肩衝茶入 銘 手習		江戸 17		
15	高麗茶碗 銘 花散里		朝鮮王朝 17		
16	唐物茶壺 銘 橋姫	大名物	元-明 14-15		
	徳川綱吉 徳川綱誠(尾張家3代)				

以上

・*印は名古屋市蓬左文庫の所蔵品、無印は徳川美術館の所蔵品です。

・出品リストの番号は、展示順を示していません。

・作品の保存のため、展示作品および出陳期間を変更する場合があります。予めご了承下さい。

軍記物 歴史とものがたり

平成20年7月24日(木)～9月28日(日)

世に知られた『平家物語』あるいは『太平記』などといったいわゆる軍記物は、『東鑑』などの歴史書が過去の出来事を記録することを一応は目指したものであるのと異なり、あたかも歴史事実を縦系に、フィクションを横系にして織り上げた「ものがたり」という"織物"であるかのようです。したがって軍記物の内容は、その全てが歴史事実そのものというわけではありません。

しかしこの「ものがたり」の存在によって、味気なく断片的な歴史事実、中でも戦争という現実には目を背けたくなるような血生臭い殺し合いでさえも、ドラマチックに語り継がれることで忘れ去られることなく、数百年を経た現代の私たちの中にまで伝わっています。つまり軍記物は、歴史書よりも力強く「戦争の歴史」を伝え続けてきたわけです。

またそもそも歴史書にしても、実際は特定の人間・組織の手によって、膨大な歴史事実の中から目的に添った出来事だけを取捨選択して編集することで作られた"作品"である以上、やはり歴史事実そのものではありません。この意味で軍記物と歴史書との間に明確な境界はないわけです。

これらのことは私たちに、歴史事実が、自動的に真の歴史として伝えられていくのではなく、人間によって語り継がれたものこそが「歴史」となって生き残っていくことを示しています。

今回の展示は、こうした「歴史」と「ものがたり」という切っても切れない関係についてご紹介します。会期中に終戦の日を迎えるこの展示を、ご観覧の皆様それぞれが、"自分たちにとっての歴史とは何か"ということについてお考えいただくきっかけになればと思います。

No.	作品名	点数	成立年代	製作年代	
1	保元物語	4冊	13世紀	17世紀	
2	平治物語	4冊	13世紀	17世紀	
3	平家物語	12冊	13世紀	17世紀	
4	玉葉	69冊	12世紀	18世紀	
5	百鍊抄	14冊	13世紀	19世紀	
6	東鑑	50冊	14世紀	17世紀	
7	東鑑	69冊	14世紀	17世紀	
8	源平盛衰記	24冊	14世紀	17世紀	
9	源平盛衰記	48冊	14世紀	17世紀	
10	義経記	8冊	15-16世紀	17世紀	
11	太平記	21冊	14世紀	17世紀	
12	神皇正統記	4冊	14世紀	17世紀	
13	梅松論	3冊	14世紀	18世紀	
14	難太平記	1冊	14世紀	17世紀	以上

作品はすべて名古屋市蓬左文庫の所蔵です。

出品リストの番号は展示順を示していません。

作品の保存のため、展示作品および出陳期間を変更する場合があります。予めご了承下さい。